

新年のごあいさつ



登別市議会議長
辻 弘之

新年あけましておめでとうございます。

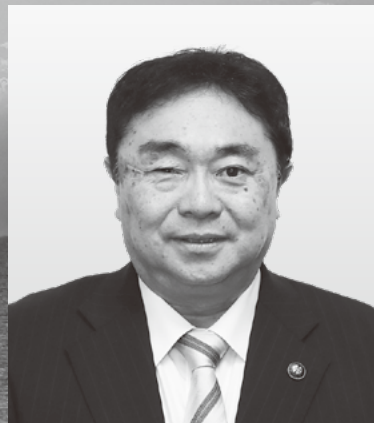
皆さまにおかれましては希望にあふれる新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、昨年は適正な議員定数についての意見交換会を開催したところ、多くの市民からご協力をいただき、誠にありがとうございました。町内会や市民活動団体はもとより、地元高校生や日本工学院北海道専門学校生の皆さまなど、若い世代からも議会に対する関心をお寄せいただく機会となりました。

市議会の本質的な役割は住民自治を体現し、行政の企画・執行において、住民の想いを余すことなく反映するよう議論することにあります。そのため、多様な価値観を有する住民の方々の想いをつぶさに受け止める姿勢が、議会には常に求められています。

特に、少子高齢化や社会問題の複雑化が進む中においては、少数とされる方々のご意見が潜在化しやすくなっており、それらの想いを丁寧にお聞きする環境を整えることがより重要な時代になってきていると感じています。例えば新図書館整備問題のように、多世代、多様な価値観の融和が重要なテーマについて、より良い次代の地域づくりに向けて理解し合えるよう議会議論を尽くしてまいります。

結びに、市民の皆さまにとりまして、本年もご健勝で明るく、幸せに満ちあふれた実り多き年となりますことを心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。



登別市長
小笠原 春一

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、5期目の市政執行にあたり表明した『こどもファースト』のもと『こども誰でも通園制度』の試行や『一時預かり事業（一般型）』の実施、青葉放課後児童クラブの校内移転など、子どもたちを安全に安心して育む環境の整備に取り組んでまいりました。

4月には、幌別小学校敷地内に放課後児童クラブ併設型の児童館をオープンするほか、保育料の引き下げに取り組むなど、本年も全ての子どもたちと子育てに取り組む人たちを応援する施策の実現に取り組んでまいります。

また、富岸町に建設中の新しい消防庁舎は4月に供用開始しますが、新庁舎を核とした新たな消防体制のもと、市民の皆さまの安全安心の向上に努めてまいります。

このほか、現在建設中の市役所新庁舎について、令和8年中の供用開始に向け整備を着実に進めるとともに、新庁舎移転後の幌別地区やJR登別駅前広場の整備などが予定される登別地区の活性化について、市民の皆さまの意見をいただきながら行政の方向性を示すなど、人口減少に対応した持続可能なまちづくりについて、今後も市民との対話を重視した市政運営を進めてまいりますので、本年におきましても、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。